

## 調査結果の概要

平成17年10月1日現在で実施された「平成17年国勢調査」の第1次基本集計結果（人口、世帯、住居、外国人及び高齢者世帯等に関する事項）の千葉県の概要をまとめました。

### 1 人口

#### (1) 人口総数

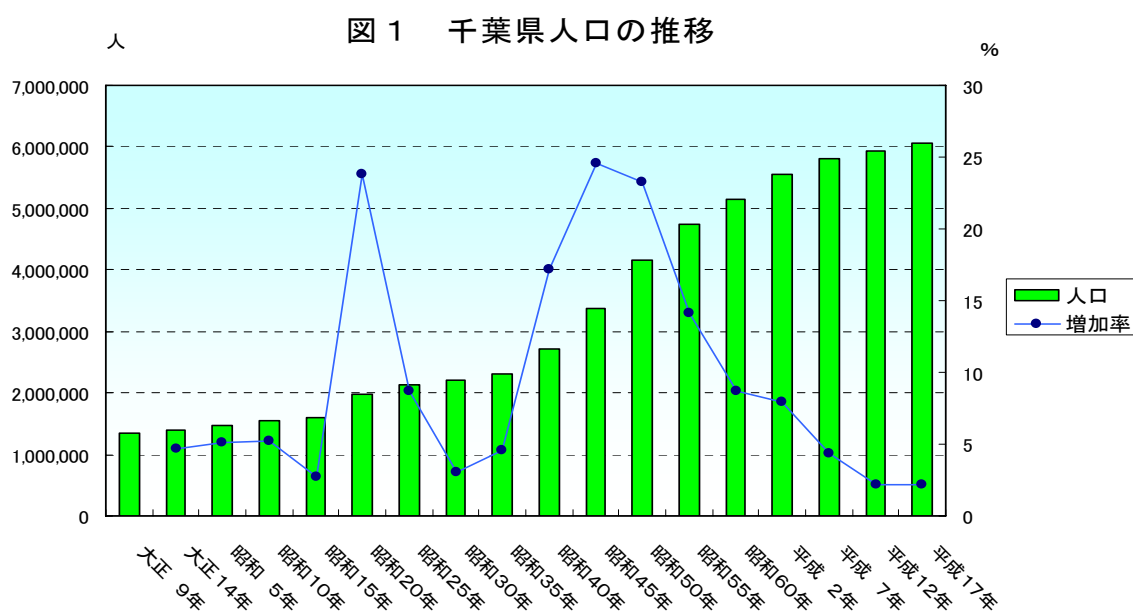
千葉県は6,056,462人—5年前より2.2%増加—

平成17年10月1日現在の本県の人口は、6,056,462人で、全国人口の4.7%を占め、第6位であった。

平成12年調査に比べて130,177人、2.2%（前回2.2%）増加した。全国の増加率は0.7%で本県は第6位であった。

本県の人口増加数は、昭和50年の782,523人増加をピークに減少を続けていたが、今回は平成12年の増加数128,503人を1,674人上回った。

男女別人口は、男性3,029,486人、女性3,026,976人となり、人口性比(女性100人に対する男性の数)は平成12年の100.9から100.1と0.8ポイント減少した。



(2) 市町村別人口

**人口増加率が最も高い市町村は浦安市**

市町村別に人口をみると、千葉市が924,319人で最も多く、県人口の15.3%を占めた。次いで、船橋市が569,835人、松戸市が472,579人、市川市が466,608人、柏市が380,963人の順となった。

人口増加数では千葉市が37,155人で最も多く、次いで浦安市、船橋市、市川市、八千代市の順となった。

人口増加率では浦安市が16.8%で最も高く、次いで、印旛村、酒々井町、八千代市、大網白里町の順となった。

人口減少数では銚子市が3,677人で最も多く、次いで富津市、佐原市、九十九里町、鴨川市の順となった。

人口減少率では長南町が7.6%で最も多く、次いで白浜町、鋸南町、九十九里町、千倉町の順となった。

表1-1 人口増加数上位5市町村の推移

単位:人

	平成2年		平成7年		平成12年		平成17年	
1	千葉市	40,525	千葉市	27,423	千葉市	30,286	千葉市	37,155
2	市川市	38,774	市原市	19,345	八千代市	14,339	浦安市	22,306
3	柏市	31,930	佐倉市	17,936	柏市	10,101	船橋市	19,761
4	松戸市	28,737	印西町	15,949	浦安市	9,330	市川市	17,966
5	船橋市	26,304	八街市	15,182	船橋市	9,257	八千代市	11,881

表1-2 人口増加率上位5市町村の推移

単位:%

	平成2年		平成7年		平成12年		平成17年	
1	印西町	78.5	印西町	38.23	本埜村	85.2	浦安市	16.8
2	栄町	58.3	山武町	38.15	八街市	11.3	印旛村	14.0
3	山武町	34.7	八街市	30.3	大網白里町	11.0	酒々井町	7.5
4	八街町	33.3	白井町	28.0	神崎町	9.6	八千代市	7.0
5	富里町	28.7	大網白里町	25.2	東金市	9.3	大網白里町	5.3

表 1-3 人口減少数上位 5 市町村の推移

単位：人

	平成 2 年		平成 7 年		平成 1 2 年		平成 1 7 年	
1	銚子市	2,745	銚子市	2,958	銚子市	3,483	銚子市	3,677
2	富津市	1,901	館山市	1,695	佐原市	1,617	富津市	2,677
3	館山市	1,460	勝浦市	1,006	館山市	1,468	佐原市	2,363
4	鋸南町	746	千倉町	727	富津市	1,434	九十九里町	1,257
5	千倉町	704	鋸南町	625	関宿町	1,180	鴨川市	1,178

表 1-4 人口減少率上位 5 市町村の推移

単位：%

	平成 2 年		平成 7 年		平成 1 2 年		平成 1 7 年	
1	白浜町	7.3	富浦町	6.5	富山町	6.28	長南町	7.6
2	鋸南町	6.0	天津小湊町	5.4	長南町	6.27	白浜町	7.3
3	天津小湊町	5.7	鋸南町	5.3	天津小湊町	6.1	鋸南町	7.1
4	富浦町	5.5	富山町	5.2	干潟町	5.7	九十九里町	6.2
5	和田町	4.9	白浜町	5.1	和田町	5.2	千倉町	5.9

(3) 外国人

県内在住外国人は73,116人 —5年前より27.0%増加—

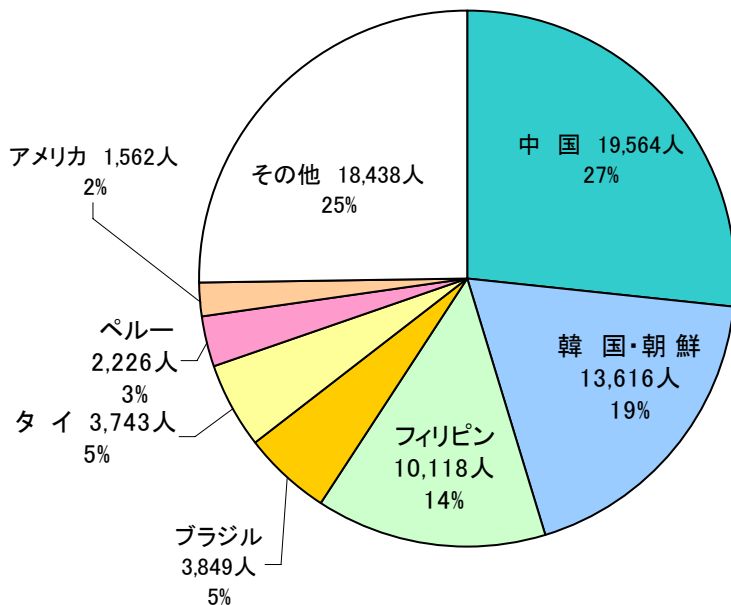
千葉県に在住する外国人は、73,116人で、平成12年調査に比べて15,531人、27.0%増加し、県人口の1.21%を占めた。

本県在住外国人を国籍別に見ると、中国人が19,564人で最も多く、外国人在住者の26.8%を占めた。次いで韓国・朝鮮人が13,616人、フィリピン人が10,118人、ブラジル人が3,849人の順となった。

表2 県内在住外国人数及び県人口比率の推移

	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年
県内在住外国人(人)	27,568	48,236	57,585	73,116
県人口比率(%)	0.50	0.83	0.97	1.21

図2 国籍別外国人人口(平成17年)



\* その他には、無国籍及び国名「不詳」を含む

(4) 人口密度

人口密度の最も高い市町村は浦安市

本県の人口密度は、1,174.5人/k㎡で、平成12年調査に比べて25.1人増加した。

人口密度を全国と比較すると、全国では342.7人/k㎡で、本県は6番目に高かった。

人口密度の高い市町村は、浦安市が8,976.3人/k㎡、次いで市川市が8,123.4人/k㎡、松戸市が7,705.5人/k㎡となった。

また、人口密度の低い市町村は、大多喜町が88.7人/k㎡、次いで丸山町が123.3人/k㎡、三芳村が137.3人/k㎡となった。

表3-1 人口密度の高い上位5市町村の推移 単位：人/k㎡

	平成2年		平成7年		平成12年		平成17年	
	市町村	人口密度	市町村	人口密度	市町村	人口密度	市町村	人口密度
1	市川市	7,606.2	市川市	7,671.2	市川市	7,810.6	浦安市	8,976.3
2	松戸市	7,438.6	松戸市	7,521.2	浦安市	7,686.9	市川市	8,123.4
3	習志野市	7,216.3	習志野市	7,283.8	松戸市	7,579.3	松戸市	7,705.5
4	浦安市	6,690.3	浦安市	7,147.6	習志野市	7,338.5	習志野市	7,564.8
5	船橋市	6,227.6	船橋市	6,312.8	船橋市	6,419.3	船橋市	6,650.0

表3-2 人口密度の低い上位5市町村の推移 単位：人/k㎡

	平成2年		平成7年		平成12年		平成17年	
	市町村	人口密度	市町村	人口密度	市町村	人口密度	市町村	人口密度
1	大多喜町	101.8	大多喜町	97.7	大多喜町	93.4	大多喜町	88.7
2	丸山町	137.1	丸山町	133.0	丸山町	131.0	丸山町	123.3
3	三芳村	139.8	三芳村	140.1	三芳村	139.9	三芳村	137.3
4	富山町	169.4	富山町	160.6	富山町	150.5	富山町	142.6
5	長柄町	175.6	長南町	173.4	長南町	162.6	長南町	150.3

## 2 世帯

### (1) 世帯数

世帯数は2,325,232世帯 - 5年前より7.0%増加 -

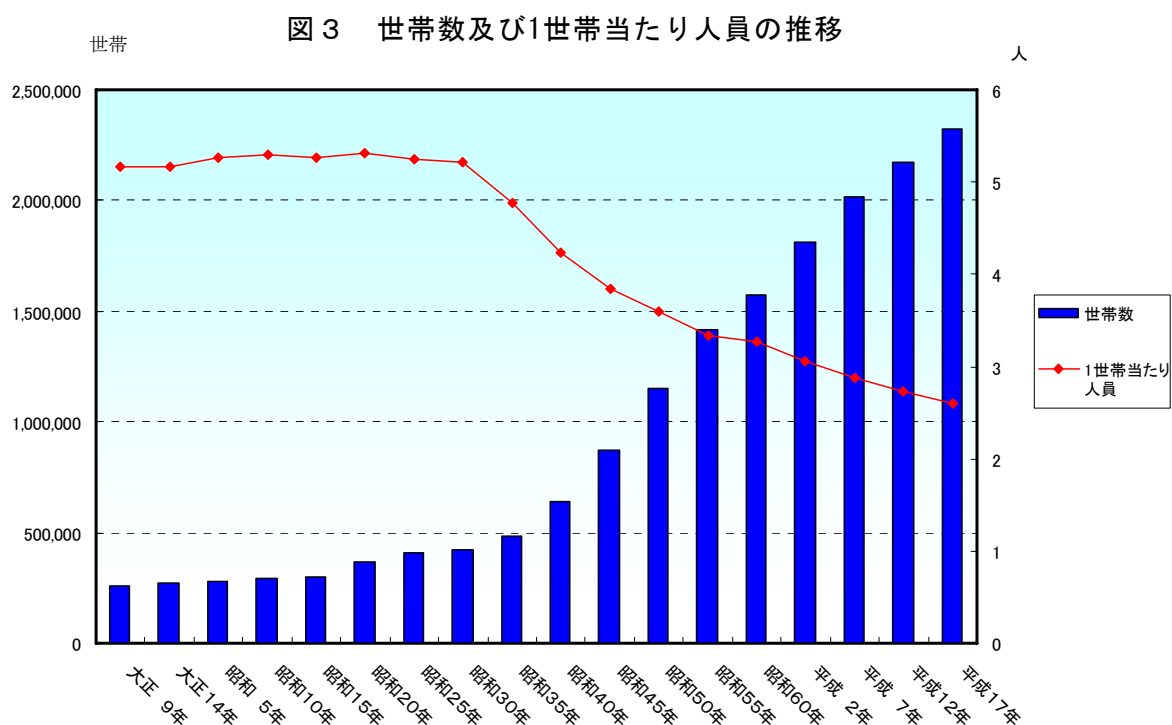
本県の世帯数は、2,325,232世帯で、平成12年調査に比べて151,920世帯、7.0%増加した。

1世帯当たり人員は、昭和20年の5.32人をピークに減少を続け、平成17年も平成12年調査に比べて0.13人減少し、2.60人(前回2.73人)となった。

一般世帯は、2,304,321世帯で、平成12年調査に比べて140,204世帯、6.5%増加した。

1世帯当たり人員は、平成12年調査に比べて0.12人減少し、2.58人(前回2.70人)となった。

(注) 一般世帯とは、全世帯から学生寮・病院・社会施設などの施設等の世帯を除いたもの



## (2) 家族類型別世帯

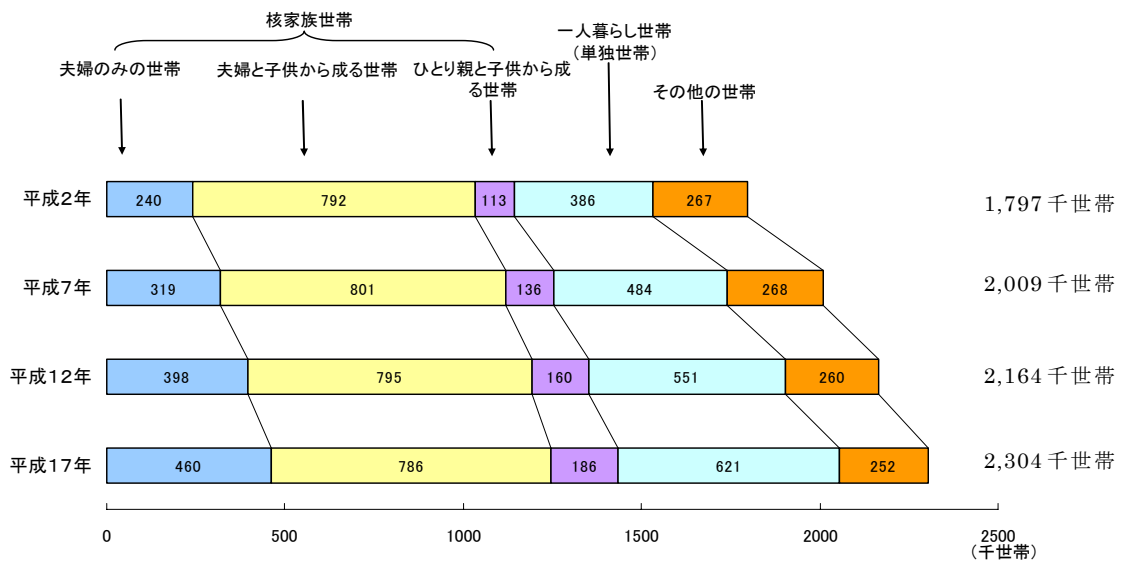
核家族世帯は一般世帯の62% — 5年前より5.7%増加—

一般世帯を家族類型別にみると、核家族世帯は1,431,350世帯(一般世帯の62.1%)で、平成12年調査に比べて5.7%増加した。

このうち「夫婦のみの世帯」は、460,155世帯(一般世帯の20.0%)で、平成12年調査に比べて15.6%増加したが、「夫婦と子供から成る世帯」は785,619世帯(同34.1%)で、1.2%減少した。

また、一人暮らし世帯(単独世帯)は620,794世帯(同26.9%)で、平成12年調査に比べて12.7%増加した。

図4 一般世帯の家族類型別世帯数の推移



\* 「その他の世帯」とは、「夫婦と両親から成る世帯」や「兄弟姉妹のみから成る世帯」などの世帯をいう。

### (3) 高齢親族のいる世帯

一人暮らし高齢者は136,972世帯—5年前より40.3%増加—

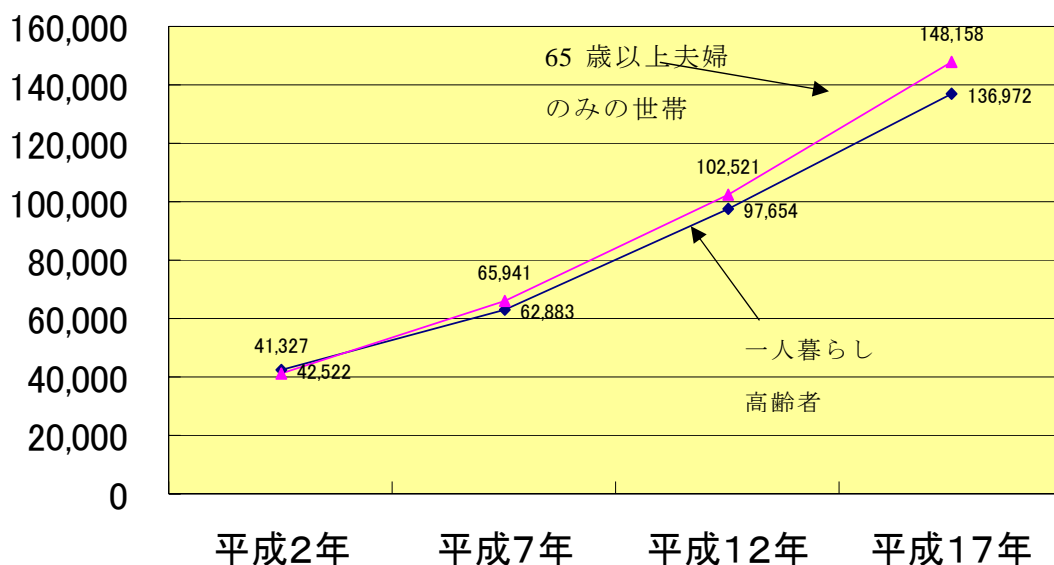
65歳以上の親族のいる世帯は716,768世帯で、平成12年調査に比べて、137,926世帯、23.8%増加した。

このうち、一人暮らし高齢者(65歳以上の単独世帯)は、136,972世帯で平成12年調査に比べて39,318世帯、40.3%増加した。

また、65歳以上夫婦のみの世帯は、148,158世帯で、平成12年調査に比べて45,637世帯、44.5%増加した。

一般世帯に占める65歳以上の親族のいる世帯の割合を全国と比較すると、全国は35.1%、本県は31.1%となり、6番目に少なかった。

世帯 図5 高齢者世帯の推移





### 3 年齢及び配偶関係

#### (1) 年齢構成

老年人口は1,060,343人 —5年前より26.7%増加—

本県の年齢構成を年齢3区分別人口で見ると年少人口(15歳未満人口)は、819,348人で、平成12年調査に比べて23,186人、2.8%減少した。

年少人口の総人口に占める割合を全国と比較すると、全国は13.7%、本県は13.5%となり10番目に低かった。

生産年齢人口(15～64歳人口)は、4,154,600人で、平成12年調査に比べて81,325人、1.9%減少した。

生産年齢人口の総人口に占める割合を全国と比較すると、全国は65.8%、本県は68.6%となり4番目に高かった。

老年人口(65歳以上人口)は、1,060,343人で、平成12年調査に比べて223,326人、26.7%増加した。

老年人口の総人口に占める割合を全国と比較すると、全国は20.1%、本県は17.5%となり5番目に低かった。

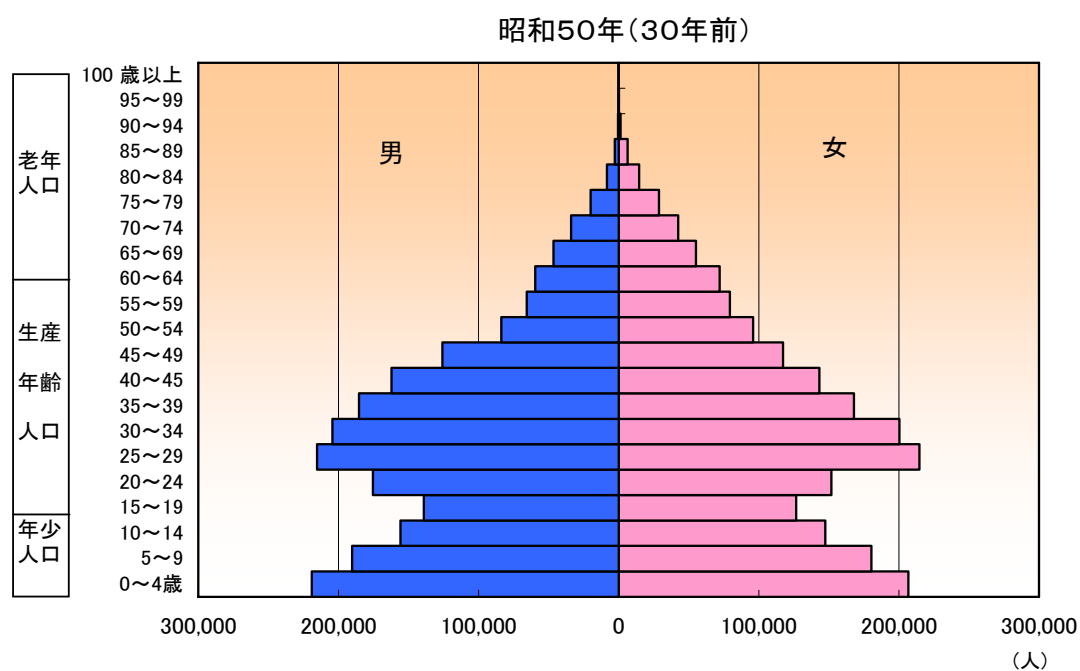
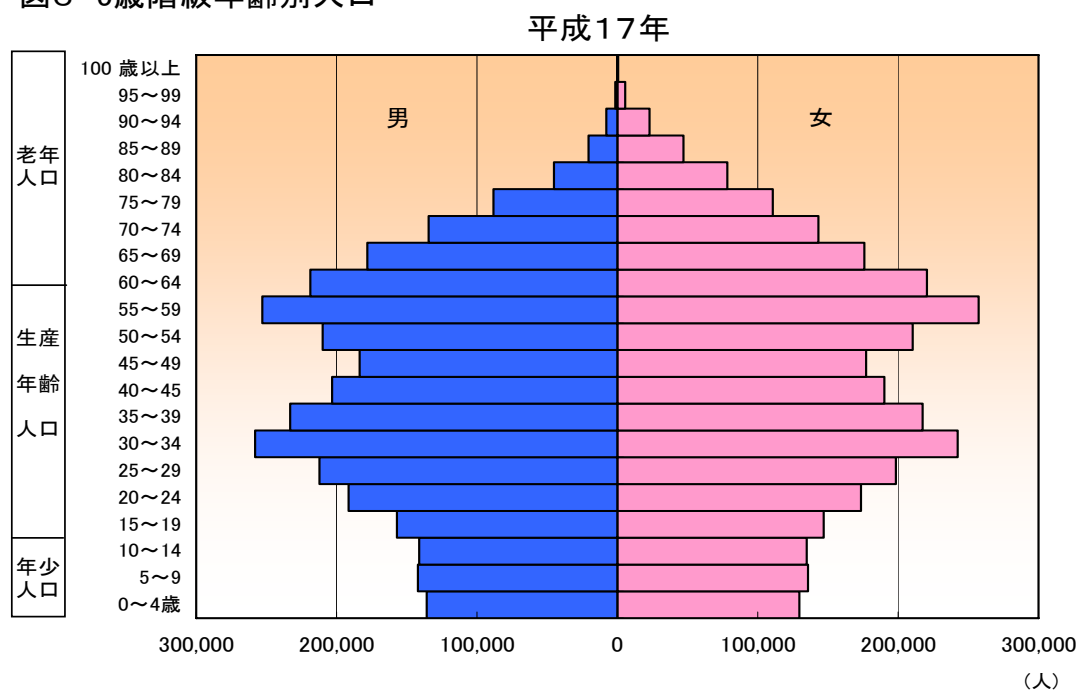
表4 年齢3区分別人口の推移 単位：人 ( )内構成比

区 分	年少人口 (0～14歳)	生産年齢人口 (15～64歳)	老年人口 (65歳以上)
平成 2年	1,034,308 (18.6%)	3,994,245 (71.9%)	509,837 (9.2%)
平成 7年	915,719 (15.8%)	4,224,738 (72.9%)	651,789 (11.2%)
平成12年	842,534 (14.2%)	4,235,925 (71.5%)	837,017 (14.1%)
平成17年	819,348 (13.5%)	4,154,600 (68.6%)	1,060,343 (17.5%)

\* 年齢3区分別人口については、年齢不詳を除き、構成比は人口総数に対する割合

平成17年人口ピラミッドは、昭和50年の「つぼ型」に近い形から、55～59歳、30～34歳を中心とした二つの膨らみを持つ「ひょうたん型」に近い形となった。

図6 5歳階級年齢別人口



## (2) 平均年齢

平均年齢は42.4歳 - 5年前より2.1歳高い

本県の平均年齢は、42.4歳となり、平成12年調査に比べて2.1歳高くなった。全国と比較すると、全国は43.3歳で、年齢の若い順で本県は第6位であった。

男性の平均年齢は、41.4歳、女性の平均年齢は43.5歳となり、平成12年調査に比べてそれぞれ2.1歳、2.2歳高くなった。

表5 平均年齢の推移

単位：歳

項目	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年
総数	36.0	38.1	40.3	42.4
男	35.1	37.2	39.3	41.4
女	36.9	39.1	41.3	43.5

## (3) 配偶関係

30～34歳で男性は2人に1人、女性は3人に1人が未婚

15歳以上の人口を配偶関係別にみると、男性は、未婚者が845,516人(15歳以上人口の32.6%)、有配偶者が1,561,225人(同60.1%)、死別者が64,330人(同2.5%)、離別者が73,374人(同2.8%)となっており、女性は、未婚者が614,475人(同23.5%)、有配偶者が1,566,847人(同59.8%)、死別者が291,416人(同11.1%)、離別者が116,887人(同4.5%)となった。

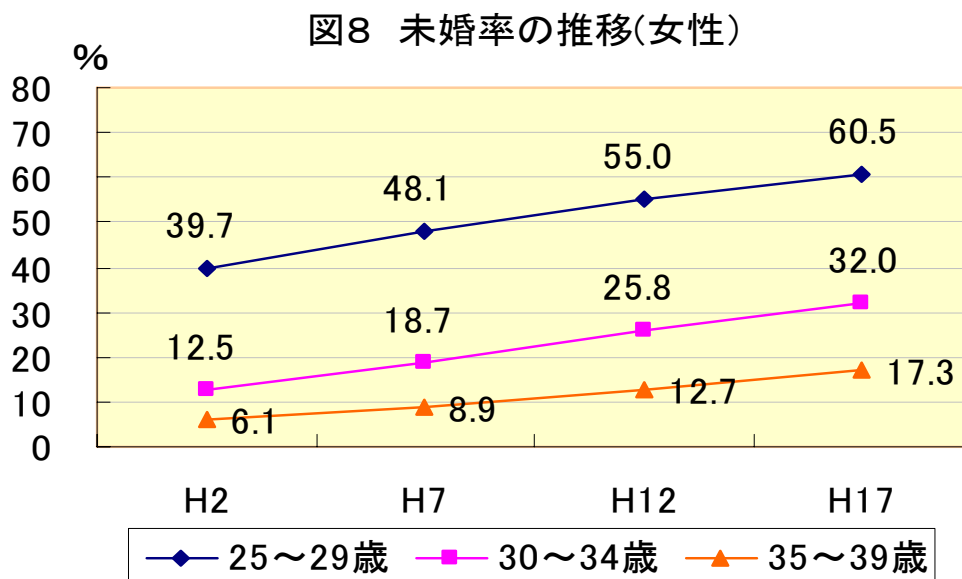
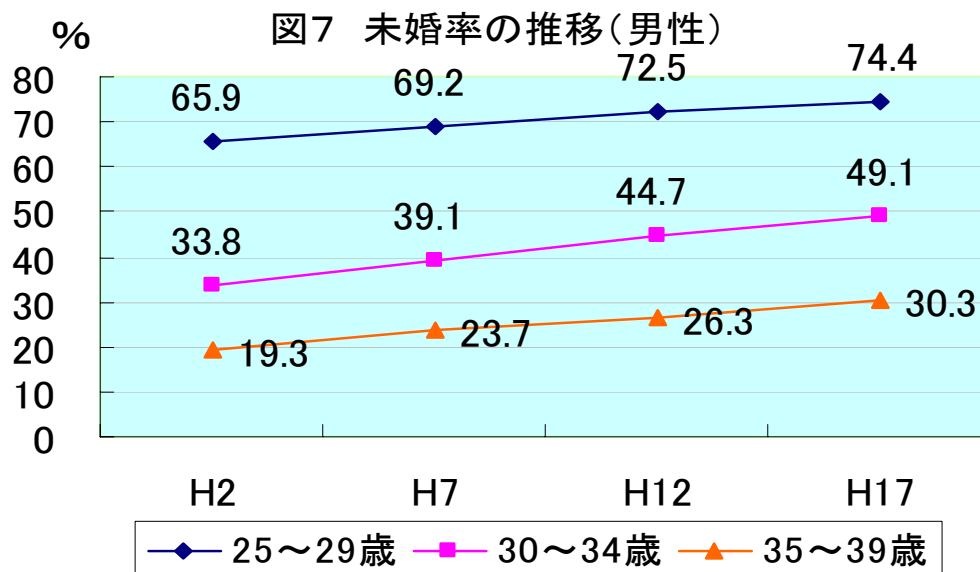
15歳以上の人口の未婚率を全国と比較すると、全国は男性が31.4%、女性が23.2%で、本県では男性は7番目、女性は9番目に高かった。

25～39歳の未婚率を5歳階級別にみると、平成12年調査に比べて、いずれも上昇しており25～29歳は男性が74.4%、女性が60.5%で、それぞれ1.9ポイント、5.5ポイント上昇

した。

30～34歳では、男性が49.1%、女性が32.0%で、それぞれ4.4ポイント、6.2ポイント上昇した。

35～39歳では、男性が30.3%、女性が17.3%で、それぞれ4.0ポイント、4.6ポイント上昇した。



## 4 住 居

1世帯当たり延べ面積は87.2㎡

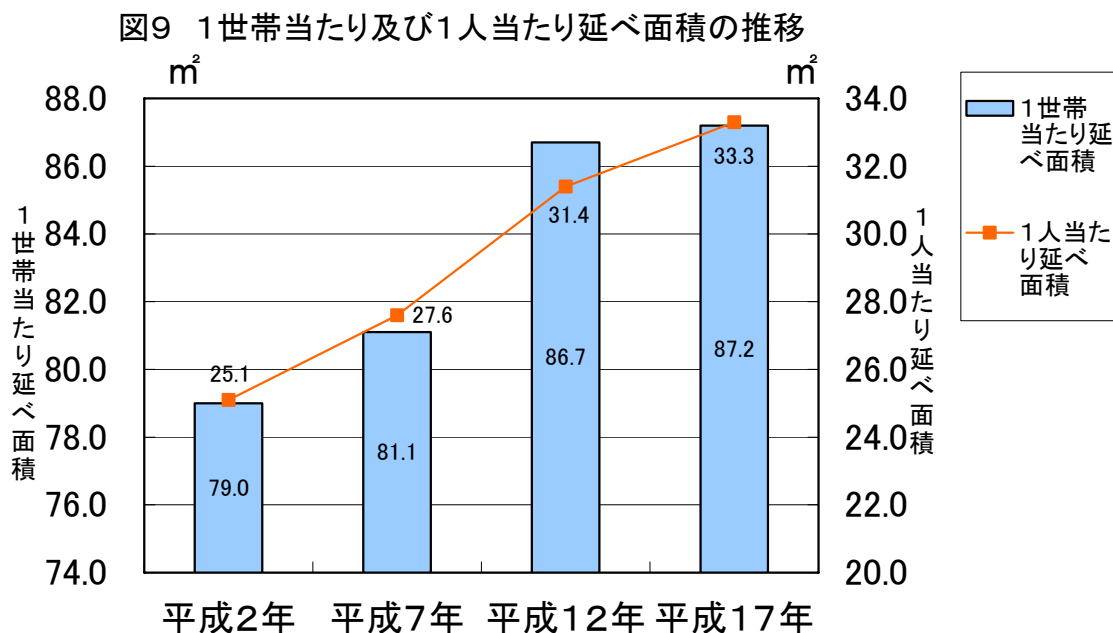
住宅の所有の関係別に一般世帯（2,251,775世帯）をみると、持ち家に住む世帯は1,475,412世帯で、平成12年調査に比べて10.4%増、民営の借家に住む世帯は534,566世帯で、7.5%増、給与住宅に住む世帯は88,497世帯で16.6%減少した。

持ち家のうち、一戸建てに住む世帯は1,177,483世帯で、持ち家の79.8%を占めた。

一般世帯の1世帯当たり延べ面積は87.2㎡、1人当たり延べ面積は33.3㎡であり、平成12年調査に比べてそれぞれ0.5㎡、1.9㎡増加した。

住宅の建て方別でみると、一戸建は1,267,930世帯（住宅に住む一般世帯の56.3%）で平成12年調査に比べて5.0%増、共同住宅は936,467世帯（同41.6%）で12.4%増加した。

（注）住宅の所有の関係別の一般世帯数は、住宅以外（寄宿舍・寮や病院・学校・旅館・会社・工場・事務所など）に居住している世帯を除く。



統計表

別表1 千葉県的人口及び世帯数の推移

Excel : 26KB

別表2 平成17年国勢調査市区町村別人口及び世帯数

Excel : 32KB